



**都内初の「Dolby Cinema™(ドルビーシネマ)」
丸の内ピカデリーに明日(10月4日)オープン！**
国内では4スクリーン目、今冬には5スクリーン目が名古屋に
東名阪・九州の主要都市にドルビーシネマがオープン

2019年10月3日

ドルビージャパン株式会社

ドルビージャパン株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:大沢幸弘 以下、ドルビー)は、株式会社松竹マルチプレックスシアターズ(本社:東京都中央区、代表取締役社長:熊谷浩二)と都内初となるドルビーシネマを明日(10月4日)オープンいたします。日本国内においては、T・ジョイ博多、MOVIX さいたま、梅田ブルク7に続く4スクリーン目。今冬には名古屋のミッドランドスクエア シネマにオープン予定となっており、東名阪・九州の主要都市でドルビーシネマが楽しみいただけるようになります。

また、オープニング作品となる「ジョーカー」(ワーナー ブラザース ジャパン合同会社配給)を皮切りに、ハリウッド大作・話題作のみならず、2020年新春公開予定の「劇場版 機動戦士ガンダム I～III」や3月公開予定の「Fukushima 50(フクシマフィフティ)」等、邦画作品もドルビーシネマ対応作品としてラインアップされております。

ドルビーシネマとは

ドルビーシネマは、最先端の映像技術「Dolby Vision® (ドルビービジョン)」と立体音響技術の「Dolby Atmos® (ドルビーアトモス)」を採用し、さらにシネマ体験に最適化されたシアターデザイン(インテリアカラー、空間デザイン、座席アレンジメント)がこれらの技術と一体となって、アクションやストーリーをより豊かに観客にお届けし、まるでスクリーン上の世界にいるような感覚を味わえます。現在、北米からヨーロッパ、中国に至るまでの世界中のエンタテインメント企業がドルビーシネマを採用しており、世界中の映画ファンから圧倒的な支持を得ています。

ドルビージャパン株式会社 代表取締役社長 大沢 幸弘 コメント

「この度は、都内初のドルビーシネマを松竹マルチプレックスシアターズとともに、まさに東京の中心である銀座にオープンすることを大変嬉しく思います。そして、従来の映画フォーマットから大幅に向上したシネマ体験を実現することで、日本の映画ファンに最高の選択肢をご提供していきます。」



ドルビーラボラトリーズについて

ドルビーラボラトリーズ (NYSE: DLB) は、サンフランシスコを拠点とし、世界の 20 か国以上にオフィスを展開しています。ドルビーは音響と映像の科学技術からスペクタクルな体験を作り出してきました。革新的な研究とエンジニアリングに加えて、アーティストから企業、消費者までの広範囲にわたる協力的なエコシステムを築くことにより、ドルビーは世界の数十億の人々に画期的な体験を届けています。ドルビービジョン、ドルビーアトモス、ドルビーシネマ、ドルビーボイス、ドルビーオーディオによる体験は、映画館、外出先、家庭、職場でのエンタテインメントとコミュニケーションに変革をもたらしています。

Dolby、ドルビー、Dolby Atmos、Dolby Cinema、Dolby Vision、およびダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの米国およびその他の国における登録商標です。その他は各社の登録商標または商標です。

【本リリースに関するお問い合わせ先】

Dolby Japan 株式会社：中山 郁夫

Tel: 080-8814-7371 Fax: 03-3524-7389

E-mail: ikuo.nakayama@dolby.com